

改 正 後	現 行
目 次	目 次
第1章～第5章〔略〕 第6章 農薬	第1章～第5章〔略〕 第6章 農薬
第1節 各条	第1節 各条
1～5 〔略〕	1～5 〔略〕
6 EPN	6 EPN
<u>7 EPTC</u>	7 2,4,5-T
<u>8 2,4,5-T</u>	<u>8 XMC</u>
<u>9 XMC</u>	
<u>10 アジンホスメチル</u>	<u>9 アセトクロール</u>
<u>11 アセトクロール</u>	<u>10～72 〔略〕</u>
<u>12～74 〔略〕</u>	<u>73 ジクロールボス</u>
<u>75 ジクロールボス（ジクロールボス及びナレド）</u>	<u>74～167 〔略〕</u>
<u>76～169 〔略〕</u>	<u>168 プロボキスル</u>
<u>170 プロボキスル</u>	
<u>171 プロメトリン</u>	<u>169 プロモキシニル</u>
<u>172 プロモキシニル</u>	170～206 〔略〕
<u>173～209 〔略〕</u>	第2節 〔略〕
第2節 〔略〕	第3節 多成分同時分析法
第3節 多成分同時分析法	1～6 〔略〕
1～6 〔略〕	7 2,4-D 及び 2,4,5-T のガスクロマトグラフによる同時分析法
7 2,4-D 及び 2,4,5-T のガスクロマトグラフによる同時分析法	8 <u>EPTC 及び二臭化エチレンのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法</u>
8 <u>EPTC 及び二臭化エチレンのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法</u>	

改正後	現 行
<p>9 <u>アジンホスメチル及びプロフェノホスのガスクロマトグラフによる同時分析法</u></p> <p>10 アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法</p> <p>11 <u>アメトリン、シアナジン及びプロメトリンの液体クロマトグラフ質量分析計による同時分析法</u></p> <p>12 クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法</p> <p>13~17 〔略〕</p> <p>〔略〕</p> <p>第1章～第5章 〔略〕</p> <p>第6章 農薬</p> <p>第1節 各条 1~6 〔略〕</p> <p>〔新設〕</p> <p>7 EPTC</p> <p>7.1 <u>EPTC 及び二臭化エチレンのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法</u> <u>第3節8による。</u></p>	<p>8 アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法</p> <p>9 クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法</p> <p>10~14 〔略〕</p> <p>〔略〕</p> <p>第1章～第5章 〔略〕</p> <p>第6章 農薬</p> <p>第1節 各条 1~6 〔略〕</p>

改正後	現 行
<p><u>8</u> 2,4,5-T</p> <p><u>8.1</u> 2,4-D 及び 2,4,5-T のガスクロマトグラフによる同時分析法 第 3 節 7 による。</p> <p><u>9</u> XMC</p> <p><u>9.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第 3 節 3 による。</p> <p><u>9.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第 3 節 5 による。</p> <p>〔新設〕</p> <p><u>10</u> アジンホスメチル</p> <p><u>10.1</u> アジンホスメチル及びプロフェノホスのガスクロマトグラフによる同時分析法 第 3 節 9 による。</p> <p><u>11</u> アセトクロール</p> <p><u>11.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第 3 節 1 による。</p> <p><u>12</u> アセフェート</p> <p><u>12.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その 1) 第 2 節 2 による。</p>	<p><u>7</u> 2,4,5-T</p> <p><u>7.1</u> 2,4-D 及び 2,4,5-T のガスクロマトグラフによる同時分析法 第 3 節 7 による。</p> <p><u>8</u> XMC</p> <p><u>8.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第 3 節 3 による。</p> <p><u>8.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第 3 節 5 による。</p> <p><u>9</u> アセトクロール</p> <p><u>9.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第 3 節 1 による。</p> <p><u>10</u> アセフェート</p> <p><u>10.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その 1) 第 2 節 2 による。</p>

改正後	現 行
<p><u>13</u> アトラジン</p> <p><u>13.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>13.2</u> アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>10</u>による。</p> <p><u>14</u> アニロホス</p> <p><u>14.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>15</u> アメトリン</p> <p><u>15.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p>〔新設〕</p> <p><u>15.2</u> <u>アメトリン、シアナジン及びプロメトリンの液体クロマトグラフ質量分析計による同時分析法</u> 第3節<u>11</u>による。</p> <p><u>16</u> アラクロール</p> <p><u>16.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>16.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>11</u> アトラジン</p> <p><u>11.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>11.2</u> アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>8</u>による。</p> <p><u>12</u> アニロホス</p> <p><u>12.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>13</u> アメトリン</p> <p><u>13.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>14</u> アラクロール</p> <p><u>14.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>14.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>16.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p>	<p><u>14.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p>
<p><u>17</u> アリドクロール <u>17.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>15</u> アリドクロール <u>15.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>18</u> アルジカルブ（アルジカルブスルホキシド及びアルジカルブスルホンを含む。） <u>18.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>	<p><u>16</u> アルジカルブ（アルジカルブスルホキシド及びアルジカルブスルホンを含む。） <u>16.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>
<p><u>19</u> アルドリン（アルドリン及びディルドリン） <u>19.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>17</u> アルドリン（アルドリン及びディルドリン） <u>17.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>19.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>17.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>
<p><u>19.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p>	<p><u>17.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>20</u> アレスリン</p> <p><u>20.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>20.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>20.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p> <p><u>21</u> イサゾホス</p> <p><u>21.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>22</u> イソフェンホス（イソフェンホス及びイソフェンホスオキソン）</p> <p><u>22.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>22.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>	<p><u>18</u> アレスリン</p> <p><u>18.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>18.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>18.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p> <p><u>19</u> イサゾホス</p> <p><u>19.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>20</u> イソフェンホス（イソフェンホス及びイソフェンホスオキソン）</p> <p><u>20.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>20.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>23</u> イソフェンホスオキソン <u>23.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>21</u> イソフェンホスオキソン <u>21.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>24</u> イソプロカルブ <u>24.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 (その1) 第3節3による。</p>	<p><u>22</u> イソプロカルブ <u>22.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 (その1) 第3節3による。</p>
<p><u>24.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>	<p><u>22.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>
<p><u>25</u> イソプロチオラン <u>25.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>23</u> イソプロチオラン <u>23.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>26</u> イプロジオン(イプロジオン代謝物を含む。) <u>26.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>24</u> イプロジオン(イプロジオン代謝物を含む。) <u>24.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>27</u> イプロベンホス <u>27.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>25</u> イプロベンホス <u>25.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>27.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>	<p><u>25.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>28</u> イミダクロプリド</p> <p><u>28.1</u> 液体クロマトグラフ質量分析計による単成分分析法〔略〕</p> <p><u>29</u> エタルフルラリン</p> <p><u>29.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>30</u> エチオフェンカルブ(エチオフェンカルブスルホキシド及びエチオフェンカルブスルホンを含む。)</p> <p><u>30.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節4による。</p> <p><u>31</u> エチオン</p> <p><u>31.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>31.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>32</u> エディフェンホス</p> <p><u>32.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>32.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>	<p><u>26</u> イミダクロプリド</p> <p><u>26.1</u> 液体クロマトグラフ質量分析計による単成分分析法〔略〕</p> <p><u>27</u> エタルフルラリン</p> <p><u>27.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>28</u> エチオフェンカルブ(エチオフェンカルブスルホキシド及びエチオフェンカルブスルホンを含む。)</p> <p><u>28.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節4による。</p> <p><u>29</u> エチオン</p> <p><u>29.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>29.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>30</u> エディフェンホス</p> <p><u>30.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>30.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>33</u> エトフェンブロックス <u>33.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>34</u> エトフメセート <u>34.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>35</u> エトプロホス <u>35.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>35.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>36</u> エトリジアゾール <u>36.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>37</u> エトリムホス <u>37.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>37.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>	<p><u>31</u> エトフェンブロックス <u>31.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>32</u> エトフメセート <u>32.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>33</u> エトプロホス <u>33.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>33.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>34</u> エトリジアゾール <u>34.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>35</u> エトリムホス <u>35.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>35.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>38</u> エンドスルファン (α-エンドスルファン及び β-エンドスルファン)</p> <p><u>38.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>39</u> エンドスルファンサルフェート</p> <p><u>39.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>40</u> エンドリン</p> <p><u>40.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>40.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>40.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p> <p><u>41</u> オキサジアゾン</p> <p><u>41.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>36</u> エンドスルファン (α-エンドスルファン及び β-エンドスルファン)</p> <p><u>36.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>37</u> エンドスルファンサルフェート</p> <p><u>37.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>38</u> エンドリン</p> <p><u>38.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>38.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>38.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p> <p><u>39</u> オキサジアゾン</p> <p><u>39.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>42</u> オキシクロルデン</p> <p><u>42.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>42.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>43</u> カズサホス</p> <p><u>43.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>44</u> カルタップ(カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ)</p> <p><u>44.1</u> カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1} 〔略〕</p> <p><u>45</u> カルバリル</p> <p><u>45.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p> <p><u>45.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>	<p><u>40</u> オキシクロルデン</p> <p><u>40.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>40.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>41</u> カズサホス</p> <p><u>41.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>42</u> カルタップ(カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ)</p> <p><u>42.1</u> カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1} 〔略〕</p> <p><u>43</u> カルバリル</p> <p><u>43.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p> <p><u>43.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>

改正後	現 行
<p><u>46</u> カルフェントラゾンエチル <u>46.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>44</u> カルフェントラゾンエチル <u>44.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>47</u> カルベンダジム（カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミル） <u>47.1</u> カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミルの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1,2} 〔略〕</p>	<p><u>45</u> カルベンダジム（カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミル） <u>45.1</u> カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミルの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1,2} 〔略〕</p>
<p><u>48</u> カルボフェノチオン <u>48.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>	<p><u>46</u> カルボフェノチオン <u>46.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>
<p><u>49</u> カルボフラン（カルボフラン及び3-OHカルボフラン） <u>49.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>	<p><u>47</u> カルボフラン（カルボフラン及び3-OHカルボフラン） <u>47.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>
<p><u>50</u> 3-OHカルボフラン <u>50.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>48</u> 3-OHカルボフラン <u>48.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>51</u> キシリルカルブ <u>51.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>	<p><u>49</u> キシリルカルブ <u>49.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>

改正後	現 行
<p><u>51.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>	<p><u>49.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>
<p><u>52</u> キナルホス <u>52.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>50</u> キナルホス <u>50.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>53</u> キノメチオネート <u>53.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>51</u> キノメチオネート <u>51.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>54</u> キャプタン <u>54.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>52</u> キャプタン <u>52.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>55</u> キントゼン <u>55.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>53</u> キントゼン <u>53.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>56</u> グリホサート <u>56.1</u> 含リンアミノ酸系農薬のガスクロマトグラフによる系統的 分析法 第2節6による。</p>	<p><u>54</u> グリホサート <u>54.1</u> 含リンアミノ酸系農薬のガスクロマトグラフによる系統的 分析法 第2節6による。</p>

改正後	現 行
<p><u>57</u> グルホシネート（3-メチルホスフィニコプロピオン酸を含む。）</p> <p><u>57.1</u> 含リンアミノ酸系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節6による。</p> <p><u>58</u> クレソキシムメチル</p> <p><u>58.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>59</u> クロフェンテジン</p> <p><u>59.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>60</u> クロルタールジメチル</p> <p><u>60.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>61</u> クロルデン（<i>cis</i>-クロルデン及び <i>trans</i>-クロルデン）</p> <p><u>61.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>61.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>55</u> グルホシネート（3-メチルホスフィニコプロピオン酸を含む。）</p> <p><u>55.1</u> 含リンアミノ酸系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節6による。</p> <p><u>56</u> クレソキシムメチル</p> <p><u>56.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>57</u> クロフェンテジン</p> <p><u>57.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>58</u> クロルタールジメチル</p> <p><u>58.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>59</u> クロルデン（<i>cis</i>-クロルデン及び <i>trans</i>-クロルデン）</p> <p><u>59.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>59.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>62</u> クロルピクリン <u>62.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>63</u> クロルピリホス <u>63.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>63.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>64</u> クロルピリホスメチル <u>64.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>64.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>64.3</u> クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>12</u>による。</p> <p><u>65</u> クロルフェナピル <u>65.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>60</u> クロルピクリン <u>60.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>61</u> クロルピリホス <u>61.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>61.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>62</u> クロルピリホスメチル <u>62.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>62.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>62.3</u> クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>9</u>による。</p> <p><u>63</u> クロルフェナピル <u>63.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>66</u> クロルフェンビンホス（クロルフェンビンホス（<i>E</i>体）及びクロルフェンビンホス（<i>Z</i>体））</p> <p><u>66.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>66.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>67</u> クロルフルアズロン</p> <p><u>67.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>68</u> クロルプロファム</p> <p><u>68.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>68.2</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p> <p><u>69</u> クロルベンジレート</p> <p><u>69.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>69.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>64</u> クロルフェンビンホス（クロルフェンビンホス（<i>E</i>体）及びクロルフェンビンホス（<i>Z</i>体））</p> <p><u>64.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>64.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>65</u> クロルフルアズロン</p> <p><u>65.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>66</u> クロルプロファム</p> <p><u>66.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>66.2</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p> <p><u>67</u> クロルベンジレート</p> <p><u>67.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>67.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>69.3</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>70</u> 酸化フェンブタスズ</p> <p><u>70.1</u> 酸化フェンブタスズ及びシヘキサチンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>13</u>による。</p> <p><u>71</u> シアナジン 〔新設〕</p> <p><u>71.1</u> アメトリン、シアナジン及びプロメトリンの液体クロマトグラフ質量分析計による同時分析法 第3節 <u>11</u>による。</p> <p><u>71.2</u> シアナジン及びマイクロブタニルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>14</u>による。</p> <p><u>72</u> ジカンバ</p> <p><u>72.1</u> ガスクロマトグラフ質量分析計による単成分分析法 〔略〕</p> <p><u>73</u> ジクロホップメチル</p> <p><u>73.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 <u>1</u>による。</p>	<p><u>67.3</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>68</u> 酸化フェンブタスズ</p> <p><u>68.1</u> 酸化フェンブタスズ及びシヘキサチンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>10</u>による。</p> <p><u>69</u> シアナジン</p> <p><u>69.1</u> シアナジン及びマイクロブタニルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>11</u>による。</p> <p><u>70</u> ジカンバ</p> <p><u>70.1</u> ガスクロマトグラフ質量分析計による単成分分析法 〔略〕</p> <p><u>71</u> ジクロホップメチル</p> <p><u>71.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 <u>1</u>による。</p>

改正後	現 行
<p><u>74</u> ジクロラン</p> <p><u>74.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>74.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>74.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p> <p><u>75</u> ジクロルボス(ジクロルボス及びナレド) 〔新設〕</p> <p><u>75.1</u> <u>ジクロルボス及びナレドのガスクロマトグラフ質量分析計による分析法</u>^{注1、2}</p> <p style="text-align: center;">A 試薬の調製</p> <p>1) <u>ジクロルボス標準液</u> ジクロルボス〔C₄H₇Cl₂O₄P〕25 mgを正確に50 mLの褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線までアセトンを加えてジクロルボス標準原液を調製する。(この液1 mLはジクロルボス0.5 mgを含有する。)</p> <p>使用に際して、標準原液の一定量をアセトンで正確に希釈し、1 mL中にジクロルボスとして0.01~2 µgを含有する数点のジクロルボス標準液を調製する。</p> <p>2) <u>リン酸緩衝液</u> リン酸二水素ナトリウム二水和物7.8 gを水500 mLに溶かした溶液230 mLにリン酸水素二ナトリウ</p>	<p><u>72</u> ジクロラン</p> <p><u>72.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>72.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>72.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p> <p><u>73</u> ジクロルボス</p>

改正後	現 行
<p><u>△・12 水 17.9 g を水 500 mL に溶かした溶液を加え、2 mol/L 水酸化ナトリウム溶液で pH 7.2 に調整する。</u></p> <p>3) <u>システイン溶液^{注3} L-システイン塩酸塩一水和物 4 g を水 50 mL に溶かし、2 mol/L 水酸化ナトリウム溶液で pH 7.0 に調整する。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>B 定 量</u></p> <p><u>抽 出 分析試料 10.0 g を量って 200 mL の褐色共栓三角フラスコに入れ、1 mol/L 塩酸 15 mL を加え 15 分間静置する。アセトンを 50 mL (乾牧草は 150 mL) 加え、30 分間振り混ぜて抽出する。100 mL の褐色全量フラスコ (乾牧草は 200 mL の褐色全量フラスコ) をプフナー漏斗^{注4} の下に置き、抽出液をろ紙 (5 種 B) で吸引る過した後、先の三角フラスコ及び残さを順次アセトン 30 mL で洗浄し、同様に吸引る過する。更に褐色全量フラスコの標線までアセトンを加える。定容した抽出液 20 mL (乾牧草は 4 mL) を 100 mL のなす形フラスコに正確に入れ 40°C 以下の水浴で 2 mL 以下まで減圧濃縮し、カラム処理 I に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理 I 試料溶液を多孔性ケイソウ土カラム (20 mL 保持用) に入れ、試料溶液の入っていたなす形フラスコを水 5 mL で洗浄し、洗液をカラムに加え、10 分間静置する。200 mL のなす形フラスコをカラムの下に置き、先のなす形フラスコをヘキサン 10 mL ずつで 3 回洗浄し、洗液を順次カラムに加え、液面が充てん剤の上端に達するまで流下し、ジクロロルボス及びナレドを溶出させる。ヘキサン 50 mL をカラムに加えて同様に溶出させ、溶出液を 40°C 以下の水浴で 40 mL 以下まで減圧濃縮し、ジクロロルボスへの変換に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>ジクロロルボスへの変換 試料溶液を 200 mL の分液漏斗 A に</u></p>	

改正後	現 行
<p><u>入れ、試料溶液の入っていたなす形フラスコをリン酸緩衝液 30 mL で洗浄し、洗液を分液漏斗 A に加える。システイン溶液 4 mL 及び塩化ナトリウム 5 g を分液漏斗 A に加え、5 分間振り混ぜてナレドをジクロルボスに変換する。水層（下層）を 200 mL の分液漏斗 B に入れ、ヘキサン層を 200 mL の三角フラスコに入れる。分液漏斗 B にヘキサン 40 mL を加え、5 分間振り混ぜた後静置し、水層を捨て、ヘキサン層を先の三角フラスコに合わせる。三角フラスコに硫酸ナトリウム（無水）適量を加えヘキサン層を脱水した後、200 mL のなす形フラスコにろ紙（5 種 B）でろ過する。先の三角フラスコを少量のヘキサンで洗浄し、洗液を先のろ紙を通してろ液を合わせる。アセトン - ジエチレングリコール（49+1）0.5 mL を加え、40°C 以下の水浴で 1 mL 以下まで減圧濃縮し、窒素ガスを送って乾固する^{注 4}。ヘキサン - ジエチルエーテル（17+3）5 mL を加え、カラム処理 II に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理 II シリカゲルミニカラム（690 mg）をヘキサン - ジエチルエーテル（17+3）5 mL で洗浄する。試料溶液をカラムに入れ、液面が充てん剤の上端に達するまで流出^{注 5}させる。試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン - ジエチルエーテル（17+3）5 mL ずつで 3 回洗浄し、洗液を順次カラムに加え、同様に流出させる。50 mL のなす形フラスコをカラムの下に置き、ヘキサン - アセトン（19+1）20 mL をカラムに加えてジクロルボスを溶出させる。</u></p> <p><u>溶出液にアセトン - ジエチレングリコール（49+1）0.5 mL を加え、40°C 以下の水浴で 1 mL 以下まで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する^{注 4}。</u></p> <p><u>アセトン 2 mL を正確に加えて残留物を溶かし、ガスクロマトグラフ質量分析計による測定に供する試料溶液とする。</u></p>	

改正後	現 行
<p><u>ガスクロマトグラフ質量分析計による測定 試料溶液及び各ジクロルボス標準液各 1 μL をガスクロマトグラフ質量分析計に注入し、選択イオン検出クロマトグラムを得る。</u></p> <p><u>測定条件 例</u></p> <p><u>カラム</u>：溶融石英製キャピラリーカラム (5%フェニル - 95%メチルポリ シルフェニレンシロキサン化学 結合型、内径 0.25 mm、長さ 30 m、膜厚 0.25 μm) ^{注6}</p> <p><u>キャリアーガス</u>：He (1.0 mL/min、初期流量)</p> <p><u>試料導入法</u>：スプリットレス (60 s)</p> <p><u>試料導入部温度</u>：250°C</p> <p><u>カラム槽温度</u>：初期温度 60°C (1 min 保持) → 昇温 15°C/min → 280°C (5 min 保 持)</p> <p><u>インターフェース温度</u>：280°C</p> <p><u>検出器</u>：四重極型質量分析計 ^{注7}</p> <p><u>イオン源温度</u>：230°C</p> <p><u>イオン化法</u>：電子衝撃イオン化 (EI) 法</p> <p><u>イオン化電圧</u>：70 eV</p> <p><u>モニターイオン</u>：定量イオン m/z 185、確認イオン m/z 109</p> <p><u>計 算</u> 得られた選択イオン検出クロマトグラムからピーク面積又は高さを求めて検量線を作成し、試料中のジクロルボス (ナレドをジクロルボスに変換したものを含む。) の量を算出する。</p> <p><u>注 1</u> 本法では、試料中のナレドをジクロルボスに変換し、試料中のジクロルボスとの総和として定量する。</p>	

改正後

現 行

- 2 操作は遮光した状態で行う。
- 3 保存できないため、用時調製する。
- 4 ジクロルボスは揮散しやすいので、窒素ガスを穏やかに送って乾固させること。
- 5 流速は 2~3 mL/min とする。必要に応じて吸引マニホールドを使用する。
- 6 Thermo 製 TR-5MS (本測定条件によるジクロルボスの保持時間は約 7 分) 又はこれと同等のもの
- 7 GCMS-QP2010 (島津製作所製) による測定条件例

(参考) 分析法バリデーション

・添加回収率及び繰返し精度

添加成分名	試料の種類	添加濃度 (µg/kg)	繰返し	平均回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
ジクロルボス	肉用牛肥育用配合飼料	40~200	3	94.1~101.7	16
	成鶏飼育用配合飼料	40~200	3	85.4~99.1	11
	とうもろこし	40~200	3	93.4~96.7	17
	バミューダハイ	1,000~10,000	3	73.2~84.1	2.3
ナレド	肉用牛肥育用配合飼料	40~200	3	86.7~93.2	13
	成鶏飼育用配合飼料	40~200	3	73.5~83.6	12
	とうもろこし	40~200	3	75.7~87.9	14
	バミューダハイ	1,000~10,000	3	76.3~77.2	6.7

・共同試験

成分名	試料の種類	試験室数	添加濃度 (µg/kg)	添加回収率 (%)	室内繰返し精度 RSD _r (%)	室間再現精度 RSD _R (%)	HorRat
ナレド	とうもろこし	9	200	92.7	4.3	12	0.54
	アルファルファ	9	10,000	83.1	4.1	12	0.96

・定量下限 試料中 ジクロルボスとして 20 µg/kg

・検出下限 試料中 ジクロルボスとして 7 µg/kg

75.2 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1)
第2節2による。

73.1 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1)
第2節2による。

改正後	現 行
<p><u>75.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>	<p><u>73.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>
<p><u>76</u> ジクワット <u>76.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>74</u> ジクワット <u>74.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>77</u> ジコホール <u>77.1</u> ジコホール及びトリフルラリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>15</u>による。</p>	<p><u>75</u> ジコホール <u>75.1</u> ジコホール及びトリフルラリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>12</u>による。</p>
<p><u>78</u> ジネブ <u>78.1</u> ジネブ及びマンゼブの液体クロマトグラフによる分析法^{注1} 〔略〕</p>	<p><u>76</u> ジネブ <u>76.1</u> ジネブ及びマンゼブの液体クロマトグラフによる分析法^{注1} 〔略〕</p>
<p><u>79</u> シハロトリン <u>79.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>77</u> シハロトリン <u>77.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>79.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>	<p><u>77.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>
<p><u>80</u> ジフェナミド <u>80.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>78</u> ジフェナミド <u>78.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>81</u> ジフェノコナゾール</p> <p><u>81.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>79</u> ジフェノコナゾール</p> <p><u>79.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>82</u> シフルトリン</p> <p><u>82.1</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>	<p><u>80</u> シフルトリン</p> <p><u>80.1</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>
<p><u>83</u> ジフルベンズロン</p> <p><u>83.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>81</u> ジフルベンズロン</p> <p><u>81.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>84</u> シヘキサチン</p> <p><u>84.1</u> 酸化フェンブタスズ及びシヘキサチンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節13による。</p>	<p><u>82</u> シヘキサチン</p> <p><u>82.1</u> 酸化フェンブタスズ及びシヘキサチンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節10による。</p>
<p><u>85</u> シペルメトリン</p> <p><u>85.1</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>85.2</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>83</u> シペルメトリン</p> <p><u>83.1</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>83.2</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>

改正後	現 行
<p><u>86</u> シマジン <u>86.1</u> アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>10</u>による。</p>	<p><u>84</u> シマジン <u>84.1</u> アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節 <u>8</u>による。</p>
<p><u>87</u> ジメチピン <u>87.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>85</u> ジメチピン <u>85.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>88</u> ジメテナミド <u>88.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 1による。</p>	<p><u>86</u> ジメテナミド <u>86.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 1による。</p>
<p><u>89</u> ジメトエート <u>89.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 1による。</p>	<p><u>87</u> ジメトエート <u>87.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 1による。</p>
<p><u>89.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節 2による。</p>	<p><u>87.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節 2による。</p>
<p><u>90</u> ジメピペレート <u>90.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 1による。</p>	<p><u>88</u> ジメピペレート <u>88.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節 1による。</p>
<p><u>91</u> 臭化メチル <u>91.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>89</u> 臭化メチル <u>89.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>

改正後	現 行
<p><u>92</u> シラフルオフエン <u>92.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>93</u> 水酸化トリフェニルスズ <u>93.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>94</u> ダイアジノン <u>94.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>94.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>94.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p> <p><u>95</u> ターバシル <u>95.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>96</u> チアベンダゾール <u>96.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>90</u> シラフルオフエン <u>90.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>91</u> 水酸化トリフェニルスズ <u>91.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>92</u> ダイアジノン <u>92.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>92.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>92.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p> <p><u>93</u> ターバシル <u>93.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>94</u> チアベンダゾール <u>94.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>

改正後	現 行
<p>97 チオシクラム</p> <p>97.1 カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1}</p> <p>44.1による。</p> <p>〔略〕</p> <p>98 チオファネートメチル</p> <p>98.1 カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミルの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1}</p> <p>47.1による。</p> <p>〔略〕</p> <p>99 チオベンカルブ</p> <p>99.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p>100 ディルドリン</p> <p>100.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p>100.2 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p>100.3 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p>	<p>95 チオシクラム</p> <p>95.1 カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1}</p> <p>42.1による。</p> <p>〔略〕</p> <p>96 チオファネートメチル</p> <p>96.1 カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミルの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1}</p> <p>45.1による。</p> <p>〔略〕</p> <p>97 チオベンカルブ</p> <p>97.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p>98 ディルドリン</p> <p>98.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p>98.2 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p>98.3 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>101</u> テクナゼン</p> <p><u>101.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>102</u> テトラクロルビンホス</p> <p><u>102.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>103</u> テトラコナゾール</p> <p><u>103.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>104</u> テトラジホン</p> <p><u>104.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>105</u> テトラメトリン</p> <p><u>105.1</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>106</u> テブコナゾール</p> <p><u>106.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>106.2</u> テブコナゾール及びフェナリモルのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法 第3節<u>16</u>による。</p>	<p><u>99</u> テクナゼン</p> <p><u>99.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>100</u> テトラクロルビンホス</p> <p><u>100.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>101</u> テトラコナゾール</p> <p><u>101.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>102</u> テトラジホン</p> <p><u>102.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>103</u> テトラメトリン</p> <p><u>103.1</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>104</u> テブコナゾール</p> <p><u>104.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>104.2</u> テブコナゾール及びフェナリモルのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法 第3節<u>13</u>による。</p>

改正後	現 行
<p>〔新設〕</p> <p>106.3 <u>テブコナゾールのガスクロマトグラフ質量分析計による単成分分析法</u> <u>(適用範囲：乾牧草^{注1})</u></p> <p style="text-align: center;"><u>A 試薬の調製</u></p> <p>1) <u>テブコナゾール標準液</u> <u>テブコナゾール〔C₁₆H₂₂ClN₃O〕</u> <u>25 mg を正確に量って 50 mL の褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加えてテブコナゾール標準原液を調製する(この液 1 mL はテブコナゾールとして 0.5 mg を含有する。)</u>。 <u>使用に際して、テブコナゾール標準原液の一定量を希釈溶媒で正確に希釈して、1 mL 中にテブコナゾールとして 0.001~1.5 μg を含有する数点のテブコナゾール標準液を調製する。</u></p> <p>2) <u>希釈溶媒</u> <u>ポリエチレングリコール 50 μL を 2,2,4-トリメチルペンタン - アセトン (4+1) 100 mL に加えて希釈溶媒を調製する。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>B 定 量</u></p> <p><u>抽 出</u> <u>分析試料 10.0 g を量って 200 mL の共栓三角フラスコに入れ、アセトニトリル - 水 (3+1) 20 mL を加えた後 10 分間静置し、更にアセトニトリル 100 mL を加え、30 分間振り混ぜて抽出する。</u> <u>200 mL の全量フラスコをブフナー漏斗の下に置き、抽出液をろ紙 (5 種 B) で吸引ろ過した後、先の三角フラスコ及び残さを順次アセトニトリル 50 mL で洗浄し、同様に吸引ろ過する。更に全量フラスコの標線までアセトニトリルを加え、この液 10 mL を 50 mL のなす形フラスコに正確に入れ、40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、水 20</u></p>	

改正後	現 行
<p><u>mL を加えてカラム処理 I に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理 I 試料溶液を多孔性ケイソウ土カラム (20 mL 保持用) に入れ、5 分間静置する。300 mL のなす形フラスコをカラムの下に置き、試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン 20 mL ずつで 3 回洗浄し、洗液を順次カラムに加える。液面が充てん剤の上端に達するまで流下してテブコナゾールを溶出させ、更にヘキサン 60 mL をカラムに加えて同様に溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。ヘキサン 10 mL を正確に加えて残留物を溶かし、カラム処理 II に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理 II 合成ケイ酸マグネシウムミニカラム (910 mg) をヘキサン 5 mL で洗浄する。</u></p> <p><u>試料溶液 2 mL を正確にミニカラムに入れ、液面が充てん剤の上端に達するまで流出させる。ミニカラムをヘキサン 4 mL で洗浄し、同様に流出させる。更にヘキサン - アセトン (19+1) 10 mL をミニカラムに加え、同様に流出させる。50 mL のなす形フラスコをミニカラムの下に置き、ヘキサン - アセトン (7+3) 15 mL をミニカラムに加えてテブコナゾールを溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。</u></p> <p><u>希釈溶媒 10 mL を正確に加えて残留物を溶かし、ガスクロマトグラフ質量分析計による測定に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>ガスクロマトグラフ質量分析計による測定 試料溶液及び各標準液各 2 μL をガスクロマトグラフ質量分析計に注入し、選択イオン検出クロマトグラムを得る。</u></p>	

改正後	現 行
<p><u>測定条件 例</u></p> <p><u>カ ラ ム</u>：<u>溶融石英製キャピラリーカラム</u> <u>(5%ジフェニル - 95%ジメチル</u> <u>ポリシロキサン化学結合型、内</u> <u>径 0.25 mm、長さ 30 m、膜厚</u> <u>0.25 μm)</u></p> <p><u>キャリヤーガス</u>：He (1.0 mL/min、初期流量)</p> <p><u>試料導入法</u>：<u>スプリットレス (60 s)</u></p> <p><u>試料導入部温度</u>：250°C</p> <p><u>カラム槽温度</u>：初期温度 70°C (2 min 保持) <u>昇温 20°C/min 280°C (10 min</u> <u>保持)</u></p> <p><u>インターフェース温度</u>：280°C</p> <p><u>検 出 器</u>：四重極型質量分析計^{注2}</p> <p><u>イオン源温度</u>：200°C</p> <p><u>イオン化法</u>：電子衝撃イオン化 (EI) 法</p> <p><u>イオン化電圧</u>：70 eV</p> <p><u>モニターイオン</u>：定量イオン m/z 250、確認イオン m/z 125</p> <p><u>計 算</u> 得られた選択イオン検出クロマトグラムからピーク面積を求めて検量線を作成し、試料中のテブコナゾール量を算出する。</p> <p><u>注 1</u> 本法は、試料中のテブコナゾール量がおおよそ 5 mg/kg を超える場合に適用する。</p> <p><u>注 2</u> GCMS-QP2010 (島津製作所製) による条件例</p>	

改正後

現 行

(参考) 分析法バリデーション

・ 添加回収率及び繰返し精度

試料の種類	添加濃度 (mg/kg)	繰返し	平均回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
オーツヘイ	0.5~30	3	93.3~98.8	2.3
アルファルファ	0.5~30	3	88.8~93.5	5.2
チモシー	0.5~30	3	93.5~94.3	8.2
バミュダストロー	0.5~30	3	87.7~99.4	5.4

・ 共同試験

成分名	試料の種類	試験室 数	添加濃度 (mg/kg)	添加回収率 (%)	室内繰返し精度 RSD _r (%)	室間再現精度 RSD _R (%)	HorRat
テブコナゾール	オーツヘイ	10	20	91.5	5.8	9.7	0.94
	チモシーヘイ	9	20	93.5	3.1	9.0	0.87

・ 定量下限 試料中 0.5 mg/kg

・ 検出下限 試料中 0.2 mg/kg

107 テブフェンピラド

107.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
第3節1による。

108 テフルトリン

108.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
第3節1による。

108.2 プレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分
析法
第2節4による。

105 テブフェンピラド

105.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
第3節1による。

106 テフルトリン

106.1 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
第3節1による。

106.2 プレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分
析法
第2節4による。

改正後	現 行
<p><u>109</u> デルタメトリン（デルタメトリン及びトラロメトリン）</p> <p><u>109.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>109.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>110</u> テルブトリン</p> <p><u>110.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>111</u> テルブホス</p> <p><u>111.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>111.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>112</u> トラロメトリン</p> <p><u>112.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法^{注1} 第3節1による。 〔略〕</p> <p><u>113</u> トリアジメノール</p> <p><u>113.1</u> トリアゾール系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節6による。</p>	<p><u>107</u> デルタメトリン（デルタメトリン及びトラロメトリン）</p> <p><u>107.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>107.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p> <p><u>108</u> テルブトリン</p> <p><u>108.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>109</u> テルブホス</p> <p><u>109.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>109.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>110</u> トラロメトリン</p> <p><u>110.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法^{注1} 第3節1による。 〔略〕</p> <p><u>111</u> トリアジメノール</p> <p><u>111.1</u> トリアゾール系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節6による。</p>

改正後	現 行
<p><u>114</u> トリアジメホン</p> <p><u>114.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>114.2</u> トリアゾール系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節6による。</p> <p><u>115</u> トリアレート</p> <p><u>115.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>116</u> トリクロルホン</p> <p><u>116.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>117</u> トリシクラゾール</p> <p><u>117.1</u> ガスクロマトグラフ質量分析計による単成分分析法 〔略〕</p> <p><u>118</u> トリフルラリン</p> <p><u>118.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>118.2</u> ジコホール及びトリフルラリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>15</u>による。</p>	<p><u>112</u> トリアジメホン</p> <p><u>112.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>112.2</u> トリアゾール系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節6による。</p> <p><u>113</u> トリアレート</p> <p><u>113.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>114</u> トリクロルホン</p> <p><u>114.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>115</u> トリシクラゾール</p> <p><u>115.1</u> ガスクロマトグラフ質量分析計による単成分分析法 〔略〕</p> <p><u>116</u> トリフルラリン</p> <p><u>116.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>116.2</u> ジコホール及びトリフルラリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>12</u>による。</p>

改正後	現 行
<p><u>119</u> トリフロキシストロピン</p> <p><u>119.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>120</u> トリルフルアニド</p> <p><u>120.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>121</u> トルクロホスメチル</p> <p><u>121.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>122</u> ナプロパミド</p> <p><u>120.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>123</u> 二臭化エチレン 〔新設〕</p> <p><u>123.1</u> EPTC 及び二臭化エチレンのガスクロマトグラフ質量分析 計による同時分析法 第3節8による。</p>	<p><u>117</u> トリフロキシストロピン</p> <p><u>117.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>118</u> トリルフルアニド</p> <p><u>118.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>119</u> トルクロホスメチル</p> <p><u>119.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>120</u> ナプロパミド</p> <p><u>120.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>121</u> 二臭化エチレン 〔廃止〕</p> <p><u>121.1</u> ガスクロマトグラフ法</p> <p style="text-align: center;">A 試薬の調製</p> <p>1) <u>二臭化エチレン標準液</u> 二臭化エチレン〔C₂H₄Br₂〕0.1 g を正確に量って 100 mL の全量フラスコに入れ、アセトン を加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加えて二臭化エチレン 標準原液を調製する(この液 1 mL は、二臭化エチレンとし て 1 mg を含有する。)。</p>

改正後	現 行
	<p>使用に際して、標準原液の一定量をヘキサンで正確に希釈し、1 mL 中に二臭化エチレンとして 0.01~0.2 µg を含有する数点の二臭化エチレン標準液を調製する。</p> <p>2) <u>ケイ酸マグネシウム</u> 6.2.1 の A の 2)による。</p> <p style="text-align: center;"><u>B 定 量</u></p> <p><u>抽 出</u> 分析試料 50 g を量って 1 L のディーン・スターク蒸留装置用フラスコに入れ、水 400 mL、ヘキサン 15 mL 及びシリコン油 1 滴を加える。このフラスコを蒸留装置に連結し、マントルヒーターを用いて 1 時間加熱して抽出した後放冷する。</p> <p><u>蒸留装置のトラップ内の水を除去し、ヘキサン層を分液ろ紙でろ過して 20 mL の全量フラスコに入れ、先のろ紙を少量のヘキサンで洗浄し、洗液を先のろ紙を通してろ液を合わせる。更に全量フラスコの標線までヘキサンを加え、カラム処理に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理</u> ケイ酸マグネシウム 2 g をカラム管（内径 10 mm）に乾式で充てんし、カラムを調製する。</p> <p><u>試料溶液をカラムに入れ、初めの流出液 5 mL を捨て、その後の流出液をガスクロマトグラフィーに供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>ガスクロマトグラフィー</u> 試料溶液及び各二臭化エチレン標準液各 5 µL をガスクロマトグラフに注入し、クロマトグラムを得る。</p> <p><u>測定条件 例</u></p> <p><u>検 出 器</u>：電子捕獲検出器</p> <p><u>カ ラ ム 用 管</u>：ガラス製、内径 3 mm、長さ 2 m</p>

改正後

現 行

カラム充てん剤：2-ニトロテレフタル酸修飾ポリエチレングリコール^{注1}（10%）/ ガスクロマトグラフ用ケイソウ土（粒径177~200 μm（80~60メッシュ））^{注2}

キャリアーガス：N₂（40 mL/min）

カラム槽温度：80°C

試料導入部温度：150°C

検出器温度：250°C

計 算 得られたクロマトグラムからピーク面積を求めて検量線を作成し、試料中の二臭化エチレン量を算出する。

注 1 FFAP（Ohio Valley Specialty Chemical 製）又はこれと同等のもの

2 Gaschrom Q（Applied Science Labs 製、信和化工販売）又はこれと同等のもの

（参考）分析法バリデーション

・添加回収率及び繰返し精度

試料の種類	添加濃度 (μg/kg)	繰返し	添加回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
とうもろこし	5~20	2	87.0~90.5	9.9
中すう用配合飼料	5~20	2	88.6~90.5	10.6
ほ乳期子豚用配合飼料	5~20	2	91.5~93.4	5.5

124 ニトロフェン

124.1 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法
第2節1による。

122 ニトロフェン

122.1 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法
第2節1による。

改正後	現 行
<p><u>125</u> ノナクロール (<i>cis</i>-ノナクロール及び <i>trans</i>-ノナクロール) <u>125.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>123</u> ノナクロール (<i>cis</i>-ノナクロール及び <i>trans</i>-ノナクロール) <u>123.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>
<p><u>126</u> パラコート <u>126.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>124</u> パラコート <u>124.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>127</u> パラチオン <u>127.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>125</u> パラチオン <u>125.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>127.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>125.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>127.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>	<p><u>125.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>
<p><u>128</u> パラチオンメチル <u>128.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>126</u> パラチオンメチル <u>126.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>128.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>126.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>129</u> ハルフェンブロックス</p> <p><u>129.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>127</u> ハルフェンブロックス</p> <p><u>127.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>130</u> ビフェントリン</p> <p><u>130.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>128</u> ビフェントリン</p> <p><u>128.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>130.2</u> プレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的 分析法 第2節4による。</p>	<p><u>128.2</u> プレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的 分析法 第2節4による。</p>
<p><u>131</u> ピペロニルブトキシド</p> <p><u>131.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>129</u> ピペロニルブトキシド</p> <p><u>129.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>132</u> ピペロホス</p> <p><u>132.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>130</u> ピペロホス</p> <p><u>130.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>133</u> ピリダフェンチオン</p> <p><u>133.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>131</u> ピリダフェンチオン</p> <p><u>131.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>134</u> ピリダベン</p> <p><u>134.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>132</u> ピリダベン</p> <p><u>132.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>135</u> <u>ピリプロキシフェン</u> <u>135.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>136</u> <u>ピリミホスメチル</u> <u>136.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>136.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>136.3</u> クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節12による。</p> <p><u>137</u> <u>ピンクロゾリン</u> <u>137.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>137.2</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>138</u> <u>フィプロニル</u> <u>138.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>133</u> <u>ピリプロキシフェン</u> <u>133.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>134</u> <u>ピリミホスメチル</u> <u>134.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>134.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>134.3</u> クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節9による。</p> <p><u>135</u> <u>ピンクロゾリン</u> <u>135.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>135.2</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>136</u> <u>フィプロニル</u> <u>136.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>139</u> フェナリモル</p> <p><u>139.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>139.2</u> テブコナゾール及びフェナリモルのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法 第3節<u>16</u>による。</p> <p><u>140</u> フェニトロチオン</p> <p><u>140.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>140.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>140.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p> <p><u>141</u> フェノチオカルブ</p> <p><u>141.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>142</u> フェノトリン</p> <p><u>142.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>137</u> フェナリモル</p> <p><u>137.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>137.2</u> テブコナゾール及びフェナリモルのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法 第3節<u>13</u>による。</p> <p><u>138</u> フェニトロチオン</p> <p><u>138.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>138.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>138.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p> <p><u>139</u> フェノチオカルブ</p> <p><u>139.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>140</u> フェノトリン</p> <p><u>140.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>143</u> フェノブカルブ</p> <p><u>143.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p> <p><u>143.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p> <p><u>144</u> フェンスルホチオン</p> <p><u>144.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>145</u> フェンチオン</p> <p><u>145.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>145.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>145.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p> <p><u>146</u> フェントエート</p> <p><u>146.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>141</u> フェノブカルブ</p> <p><u>141.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p> <p><u>141.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p> <p><u>142</u> フェンスルホチオン</p> <p><u>142.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>143</u> フェンチオン</p> <p><u>143.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>143.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>143.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p> <p><u>144</u> フェントエート</p> <p><u>144.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>146.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>144.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>146.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>	<p><u>144.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>
<p><u>147</u> フェンバレレート <u>147.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>145</u> フェンバレレート <u>145.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>147.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>	<p><u>145.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>
<p><u>147.3</u> フェンバレレート及びペルメトリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>17</u>による。</p>	<p><u>145.3</u> フェンバレレート及びペルメトリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節<u>14</u>による。</p>
<p><u>148</u> フェンブコナゾール <u>148.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>146</u> フェンブコナゾール <u>146.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>149</u> フェンプロパトリン <u>149.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>147</u> フェンプロパトリン <u>147.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>149.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>	<p><u>147.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>
<p><u>150</u> ブタクロール <u>150.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>148</u> ブタクロール <u>148.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>
<p><u>151</u> ブタミホス <u>151.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>149</u> ブタミホス <u>149.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>152</u> フラムプロップメチル <u>152.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>150</u> フラムプロップメチル <u>150.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>153</u> フルシトリネート <u>153.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>151</u> フルシトリネート <u>151.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>153.2</u> ガスクロマトグラフによるピレスロイド系農薬の系統的分析法 第2節4による。</p>	<p><u>151.2</u> ガスクロマトグラフによるピレスロイド系農薬の系統的分析法 第2節4による。</p>
<p><u>154</u> フルトラニル <u>154.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>152</u> フルトラニル <u>152.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>155</u> フルトリアホール</p> <p><u>155.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>153</u> フルトリアホール</p> <p><u>153.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>156</u> フルバリネート</p> <p><u>156.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>154</u> フルバリネート</p> <p><u>154.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>156.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的 分析法 第2節4による。</p>	<p><u>154.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的 分析法 第2節4による。</p>
<p><u>157</u> フルミオキサジン</p> <p><u>157.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>155</u> フルミオキサジン</p> <p><u>155.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>158</u> フルミクロラックペンチル</p> <p><u>158.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>156</u> フルミクロラックペンチル</p> <p><u>156.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>159</u> プレチラクロール</p> <p><u>159.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによ る系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>157</u> プレチラクロール</p> <p><u>157.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによ る系統的分析法 第2節1による。</p>
<p><u>160</u> プロシミドン</p> <p><u>160.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>158</u> プロシミドン</p> <p><u>158.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>161</u> プロチオホス <u>161.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>159</u> プロチオホス <u>159.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>162</u> プロパクロール <u>162.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>160</u> プロパクロール <u>160.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>163</u> プロパジン <u>163.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>161</u> プロパジン <u>161.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>164</u> プロパニル <u>164.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>162</u> プロパニル <u>162.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>165</u> プロパルギット <u>165.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>163</u> プロパルギット <u>163.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>166</u> プロピコナゾール <u>166.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>164</u> プロピコナゾール <u>164.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>166.2</u> トリアゾール系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節6による。</p>	<p><u>164.2</u> トリアゾール系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節6による。</p>

改正後	現 行
<p><u>167</u> プロファム</p> <p><u>167.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>168</u> プロフェノホス</p> <p><u>168.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>169</u> プロペタンホス</p> <p><u>169.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>170</u> プロポキスル</p> <p><u>170.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p> <p><u>170.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p> <p>〔新設〕</p> <p><u>171</u> プロメトリン</p> <p><u>171.1</u> アメトリン、シアナジン及びプロメトリンの液体クロマトグラフ質量分析計による同時分析法 第3節11による。</p>	<p><u>165</u> プロファム</p> <p><u>165.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>166</u> プロフェノホス</p> <p><u>166.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>167</u> プロペタンホス</p> <p><u>167.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>168</u> プロポキスル</p> <p><u>168.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p> <p><u>168.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>

改正後	現 行
<p><u>172</u> プロモキシニル <u>172.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>169</u> プロモキシニル <u>169.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>173</u> プロモブチド <u>173.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>170</u> プロモブチド <u>170.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>174</u> プロモプロピレート <u>174.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>171</u> プロモプロピレート <u>171.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>175</u> プロモホス <u>175.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>172</u> プロモホス <u>172.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>176</u> ヘキサクロロベンゼン <u>176.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>173</u> ヘキサクロロベンゼン <u>173.1</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>
<p><u>177</u> ヘキサコナゾール <u>177.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>174</u> ヘキサコナゾール <u>174.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>178</u> ベノキサコール <u>178.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>175</u> ベノキサコール <u>175.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>179</u> ベノミル</p> <p><u>179.1</u> カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミルの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1} 47.1による。 〔略〕</p> <p><u>179.2</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>180</u> ヘプタクロル(ヘプタクロル及びヘプタクロルエポキシド)</p> <p><u>180.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>180.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>180.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p> <p><u>181</u> ヘプタクロルエポキシド</p> <p><u>181.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>181.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>176</u> ベノミル</p> <p><u>176.1</u> カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミルの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1} 45.1による。 〔略〕</p> <p><u>176.2</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p> <p><u>177</u> ヘプタクロル(ヘプタクロル及びヘプタクロルエポキシド)</p> <p><u>177.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>177.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p> <p><u>177.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p> <p><u>178</u> ヘプタクロルエポキシド</p> <p><u>178.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>178.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>181.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p>	<p><u>178.3</u> 有機塩素系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節2による。</p>
<p><u>182</u> ペルメトリン (<i>cis</i>-ペルメトリン及び <i>trans</i>-ペルメトリン)</p>	<p><u>179</u> ペルメトリン (<i>cis</i>-ペルメトリン及び <i>trans</i>-ペルメトリン)</p>
<p><u>182.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>179.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>182.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>	<p><u>179.2</u> ピレスロイド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節4による。</p>
<p><u>182.3</u> フェンバレレート及びペルメトリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節17による。</p>	<p><u>179.3</u> フェンバレレート及びペルメトリンのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節14による。</p>
<p><u>183</u> ペンコナゾール</p>	<p><u>180</u> ペンコナゾール</p>
<p><u>183.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>180.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>184</u> ベンスルタップ</p>	<p><u>181</u> ベンスルタップ</p>
<p><u>184.1</u> カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1} <u>44.1</u>による。 〔略〕</p>	<p><u>181.1</u> カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップの液体クロマトグラフ質量分析計による分析法^{注1} <u>42.1</u>による。 〔略〕</p>

改正後	現 行
<p><u>185</u> ベンダイオカルブ</p> <p><u>185.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法(その1) 第3節3による。</p>	<p><u>182</u> ベンダイオカルブ</p> <p><u>182.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法(その1) 第3節3による。</p>
<p><u>185.2</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法(その2) 第3節4による。</p>	<p><u>182.2</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法(その2) 第3節4による。</p>
<p><u>186</u> ベンタゾン</p> <p><u>183.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>183</u> ベンタゾン</p> <p><u>183.1</u> ガスクロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>187</u> ペンディメタリン</p> <p><u>187.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>184</u> ペンディメタリン</p> <p><u>184.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>188</u> ベンフルラリン</p> <p><u>188.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>185</u> ベンフルラリン</p> <p><u>185.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>189</u> ホキシム</p> <p><u>189.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>186</u> ホキシム</p> <p><u>186.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>190</u> ホサロン</p> <p><u>190.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>187</u> ホサロン</p> <p><u>187.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>190.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>187.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>190.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>	<p><u>187.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>
<p><u>191</u> ホスチアゼート <u>191.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>188</u> ホスチアゼート <u>188.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>192</u> ホスメット <u>192.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>189</u> ホスメット <u>189.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>192.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>189.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>193</u> ホレート <u>193.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>190</u> ホレート <u>190.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>193.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>190.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>194</u> マラチオン</p> <p><u>194.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>194.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>194.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>	<p><u>191</u> マラチオン</p> <p><u>191.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>191.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p> <p><u>191.3</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その2) 第2節3による。</p>
<p><u>195</u> マンゼブ</p> <p><u>195.1</u> ジネブ及びマンゼブの液体クロマトグラフによる分析法^{注1} (適用範囲：配合飼料) <u>78.1</u>による。 〔略〕</p>	<p><u>192</u> マンゼブ</p> <p><u>192.1</u> ジネブ及びマンゼブの液体クロマトグラフによる分析法^{注1} (適用範囲：配合飼料) <u>76.1</u>による。 〔略〕</p>
<p><u>196</u> ミクロブタニル</p> <p><u>196.1</u> シアナジン及びミクロブタニルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節14による。</p>	<p><u>193</u> ミクロブタニル</p> <p><u>193.1</u> シアナジン及びミクロブタニルのガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節11による。</p>
<p><u>197</u> メカルバム</p> <p><u>197.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>	<p><u>194</u> メカルバム</p> <p><u>194.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p>

改正後	現 行
<p><u>198</u> メタクリホス</p> <p><u>198.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>199</u> メチオカルブ（メチオカルブスルホキシド及びメチオカルブスルホンを含む。）</p> <p><u>199.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節4による。</p> <p><u>200</u> メチダチオン</p> <p><u>200.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>200.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>201</u> メトキシクロール</p> <p><u>201.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>201.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>195</u> メタクリホス</p> <p><u>195.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>196</u> メチオカルブ（メチオカルブスルホキシド及びメチオカルブスルホンを含む。）</p> <p><u>196.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節4による。</p> <p><u>197</u> メチダチオン</p> <p><u>197.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>197.2</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節2による。</p> <p><u>198</u> メトキシクロール</p> <p><u>198.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p> <p><u>198.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>

改正後	現 行
<p><u>201.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p>	<p><u>198.3</u> アラクロール、アレスリン、クロルプロファム、ジクロラン及びメトキシクロールのガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節5による。</p>
<p><u>202</u> メトプレン <u>202.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>199</u> メトプレン <u>199.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>203</u> メトミノストロピン（<i>E</i>体） <u>203.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>200</u> メトミノストロピン（<i>E</i>体） <u>200.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>204</u> メトラクロール <u>204.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>201</u> メトラクロール <u>201.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>204.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>	<p><u>201.2</u> 有機塩素系及び酸アミド系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 第2節1による。</p>
<p><u>205</u> メトルカルブ <u>205.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>	<p><u>202</u> メトルカルブ <u>202.1</u> カーバメート系農薬の液体クロマトグラフによる同時分析法 第3節3による。</p>

改正後	現 行
<p><u>205.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>	<p><u>202.2</u> カーバメート系農薬のガスクロマトグラフによる同時分析法 第3節5による。</p>
<p><u>206</u> メビンホス <u>203.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>	<p><u>203</u> メビンホス <u>203.1</u> 農薬のガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法 第3節1による。</p>
<p><u>207</u> モノクロトホス <u>207.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>	<p><u>204</u> モノクロトホス <u>204.1</u> 有機リン系農薬のガスクロマトグラフによる系統的分析法 (その1) 第2節2による。</p>
<p><u>208</u> リニュロン <u>208.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>	<p><u>205</u> リニュロン <u>205.1</u> 液体クロマトグラフ法 〔略〕</p>
<p><u>209</u> リン化水素 <u>209.1</u> 吸光光度法 〔略〕</p>	<p><u>206</u> リン化水素 <u>206.1</u> 吸光光度法 〔略〕</p>
<p>第2節 〔略〕</p>	<p>第2節 〔略〕</p>
<p>第3節 多成分同時分析法 1~7 〔略〕</p>	<p>第3節 多成分同時分析法 1~7 〔略〕</p>

改正後	現 行
<p>〔新設〕</p> <p>8 <u>EPTC 及び二臭化エチレンのガスクロマトグラフ質量分析計による同時分析法</u></p> <p>(1) <u>分析対象化合物 EPTC 及び二臭化エチレン (2 成分)</u></p> <p>(2) <u>分析法</u></p> <p style="padding-left: 40px;">A <u>試薬の調製</u></p> <p>1) <u>EPTC 標準原液 EPTC [C₉H₁₉NOS] 25 mg を正確に量って 50 mL の褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加える (この液 1 mL は、EPTC として 0.5 mg を含有する。)</u></p> <p>2) <u>二臭化エチレン標準原液 二臭化エチレン [C₂H₄Br₂] 25 mg を正確に量って 50 mL の褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加える (この液 1 mL は、二臭化エチレンとして 0.5 mg を含有する。)</u></p> <p>3) <u>農薬混合標準液 EPTC 及び二臭化エチレン標準原液の一定量を混合した後、ヘキサンで正確に希釈し、1 mL 中に EPTC 及び二臭化エチレンとしてそれぞれ 0.001~0.5 µg を含有する数点の農薬混合標準液を調製する。</u></p> <p style="padding-left: 40px;">B <u>定 量</u></p> <p><u>抽 出 試料 20.0 g を量って 1 L 容のディーン・スターク用蒸留フラスコに入れ、水 400 mL を加え、更にヘキサン 20 mL を正確に加えた後、シリコン油約 0.2 mL を加える。この蒸留フラスコをディーン・スターク蒸留装置^{注 1}に取り付け、マントルヒーターで加熱し、沸騰を始めてから 60 分間加熱還流した後放冷する。蒸留トラップ内の水を捨て、ヘキサン層を分液ろ紙でろ過しガスクロマトグラフ質量分析計による測定に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>ガスクロマトグラフ質量分析計による測定 試料溶液及び各</u></p>	

改正後

現 行

2 GCMS-QP2010 (島津製作所製) による測定条件例
(参考) 分析法バリデーション

・ 添加回収率及び繰返し精度

添加成分名	試料の種類	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	繰返し	平均回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
EPTC	鶏用配合飼料	25~200	3	88.1~91.9	11
	牛用配合飼料	10~200	3	88.5~98.3	11
	とうもろこし	25~200	3	93.5~95.5	8.0
	ライ麦	25~200	3	93.1~95.5	6.4
二臭化エチレン	鶏用配合飼料	5~200	3	96.2~98.7	3.5
	牛用配合飼料	5~200	3	101.2~101.3	4.1
	とうもろこし	5~200	3	99.3~102.7	6.3
	ライ麦	2~200	3	96.7~99.3	3.3

・ 共同試験

成分名	試料の種類	試験室 数	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	添加回収率 (%)	室内繰返し精度 RSD _r (%)	室間再現精度 RSD _R (%)	HorRat
EPTC	とうもろこし	8	40	109	6.1	7.7	0.35
	肉用牛肥育用配合飼料	8	40	113	1.9	6.9	0.31
二臭化エチレン	とうもろこし	8	10	106	5.8	14	0.61
	肉用牛肥育用配合飼料	8	10	106	3.9	11	0.51

- ・ 定量下限 EPTC 試料中 10 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 、二臭化エチレン 試料中 2 $\mu\text{g}/\text{kg}$
- ・ 検出下限 EPTC 試料中 3 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 、二臭化エチレン 試料中 0.7 $\mu\text{g}/\text{kg}$

[新設]

9 アジンホスメチル及びプロフェノホスのガスクロマトグラフによる同時分析法

- (1) 分析対象化合物 アジンホスメチル及びプロフェノホス (2成分)
- (2) 分析法

改正後	現 行
<p style="text-align: center;">A 試薬の調製</p> <p>1) <u>アジンホスメチル標準原液</u> アジンホスメチル〔C₁₀H₁₂N₃O₃PS₂〕25 mg を正確に量って 50 mL の褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線までアセトンを加えてアジンホスメチル標準原液を調製する（この液 1 mL は、アジンホスメチルとして 0.5 mg を含有する。）。</p> <p>2) <u>プロフェノホス標準原液</u> プロフェノホス〔C₁₁H₁₅BrClO₃PS〕25 mg を正確に量って 50 mL の褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線までアセトンを加えてプロフェノホス標準原液を調製する（この液 1 mL は、プロフェノホスとして 0.5 mg を含有する。）。</p> <p>3) <u>農薬混合標準液</u> 使用に際して、アジンホスメチル及びプロフェノホス各標準原液の一定量を混合し、2,2,4-トリメチルペンタン - アセトン（4+1）で正確に希釈し、1 mL 中にアジンホスメチル及びプロフェノホスとしてそれぞれ 0.02~1 µg を含有する数点の農薬混合標準液を調製する。</p> <p style="text-align: center;">B 定 量</p> <p><u>抽 出</u> 分析試料 10.0 g を量って 200 mL の共栓三角フラスコに入れ、水 10 mL を加えて潤し 30 分間静置した後、アセトニトリル 100 mL を加え、30 分間振り混ぜて抽出する。300 mL のなす形フラスコをブフナー漏斗の下に置き、抽出液をろ紙（5 種 B）で吸引ろ過した後、先の三角フラスコ及び残さを順次アセトニトリル 50 mL で洗浄し、同様に吸引ろ過する。ろ液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。シクロヘキサン - アセトン（7+3）10 mL（綿実は 20 mL）を正確に加えて残留物を溶かし、10 mL の共栓遠心沈殿管に入れ、3,000×g で 5 分間遠心分離した後、上澄み液をメンブランフィルター（孔径</p>	

改正後	現 行
<p>0.45 μm) でろ過し、ゲル浸透クロマトグラフィーに供する試料溶液とする。</p> <p>ゲル浸透クロマトグラフィー 試料溶液 5.0 mL をゲル浸透クロマトグラフに注入し、アジンホスメチル及びプロフェノホスが溶出する画分を 100 mL のなす形フラスコに分取し、40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。</p> <p>ヘキサン 2 mL を加えて残留物を溶かし、カラム処理に供する試料溶液とする。</p> <p>ゲル浸透クロマトグラフィー 例</p> <p>カラム：スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム (内径 20 mm、長さ 300 mm、粒径 15 μm)</p> <p>ガードカラム：スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム (内径 20 mm、長さ 100 mm、粒径 15 μm)</p> <p>溶離液：シクロヘキサン - アセトン (7+3)</p> <p>流速：5 mL/min</p> <p>分取画分：70 mL~120 mL</p> <p>カラム処理 合成ケイ酸マグネシウムミニカラム (910 mg) をヘキサン 5 mL で洗浄する。試料溶液をカラムに加え、試料溶液の入っていた 100 mL のなす形フラスコをヘキサン 2 mL ずつで 2 回洗浄し、洗液を順次カラムに加え、液面が充てん剤の上端に達するまで流出させる。</p> <p>50 mL のなす形フラスコをカラムの下に置き、ヘキサン - アセトン (17+3) 15 mL を加えてアジンホスメチル及びプロフェノホスを溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固す</p>	

改正後	現 行
<p>る。</p> <p><u>2,2,4-トリメチルペンタン - アセトン (4+1) 1 mL を正確に加えて残留物を溶かし、ガスクロマトグラフィーに供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>ガスクロマトグラフィー 試料溶液及び各農薬混合標準液各 2 μL をガスクロマトグラフに注入^{注1}し、クロマトグラムを得る。</u></p> <p><u>測定条件 例</u></p> <p><u>検 出 器：炎光光度検出器（リン検出用フィルター）</u></p> <p><u>カ ラ ム：溶融石英製キャピラリーカラム （35%トリフルオロプロピル - 65%ジメチルポリシロキサン化学結合型、内径 0.25 mm、長さ 15 m、膜厚 0.25 μm）</u></p> <p><u>キャリアーガス：He（2.0 mL/min、初期流量）</u></p> <p><u>メイクアップガス：He（30 mL/min）</u></p> <p><u>水 素：75 mL/min</u></p> <p><u>乾 燥 空 気：100 mL/min</u></p> <p><u>試 料 導 入 法：スプリットレス（45 s）</u></p> <p><u>試料導入部温度：250°C</u></p> <p><u>カ ラ ム 槽 温 度：初期温度 70°C（1 min 保持） 20°C/min 250°C（4 min 保持）</u></p> <p><u>検 出 器 温 度：250°C</u></p> <p><u>計 算 得られたクロマトグラムからピーク面積を求めて検量線を作成し、試料中のアジンホスメチル量及びプロフェノホス量を算出する。</u></p>	

改正後

現行

注 1 試料導入部にはガラスウールを詰めていないシラン処理済みのインサートを使用する。

(参考) 分析法バリデーション

・添加回収率及び繰返し精度

添加成分名	試料の種類	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	繰返し	平均回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
アジンホスメチル	乳用牛飼育用配合飼料	10~3,000	3	76.3~90.9	13
	成鶏飼育用配合飼料	50~3,000	3	103.6~103.8	3.3
	小麦	50~3,000	3	86.4~111.3	2.0
	綿実	20~3,000	3	110.2~116.5	4.6
	ライグラスストロー	10~10,000	3	78.3~108.1	12
プロフェノホス	乳用牛飼育用配合飼料	10~3,000	3	96.6~111.5	7.7
	成鶏飼育用配合飼料	50~3,000	3	92.9~109.7	10
	小麦	50~3,000	3	98.5~110.3	2.8
	綿実	20~3,000	3	108.9~119.5	4.5
	ライグラスストロー	10~10,000	3	88.0~105.3	8.3

・共同試験

成分名	試料の種類	試験室 数	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	添加回収率 (%)	室内繰返し精度 RSD _r (%)	室間再現精度 RSD _R (%)	HorRat
アジンホスメチル	アルファルファ	8	100	99.3	4.1	12	0.54
	乳用牛飼育用配合飼料	8	100	88.0	7.2	9.7	0.44
プロフェノホス	アルファルファ	8	100	96.6	6.8	12	0.56
	乳用牛飼育用配合飼料	8	100	92.4	7.0	14	0.65

・定量下限 飼料(綿実を除く。)中 アジンホスメチル及びプロフェノホス 各 10 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 、綿実中 アジンホスメチル及びプロフェノホス 各 20 $\mu\text{g}/\text{kg}$

・検出下限 飼料(綿実を除く。)中 アジンホスメチル及びプロフェノホス 各 2 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 、綿実中 アジンホスメチル及びプロフェノホス 各 3 $\mu\text{g}/\text{kg}$

10 アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

8 アトラジン及びシマジンのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

改正後	現 行
<p>〔新設〕</p> <p>11 <u>アメトリン、シアナジン及びプロメトリンの液体クロマトグラフ質量分析計による同時分析法</u></p> <p>(1) <u>分析対象化合物 アメトリン、シアナジン及びプロメトリン(3成分)</u></p> <p>(2) <u>分析法</u></p> <p style="text-align: center;">A <u>試薬の調製</u></p> <p>1) <u>アメトリン標準原液 アメトリン〔C₉H₁₇N₅S〕25 mg を正確に量って 50 mL の全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線までアセトンを加えてアメトリン標準原液を調製する(この液 1 mL は、アメトリンとして 0.5 mg を含有する。)</u></p> <p>2) <u>シアナジン標準原液 シアナジン〔C₉H₁₃ClN₆〕25 mg を正確に量って 50 mL の全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線までアセトンを加えてシアナジン標準原液を調製する(この液 1 mL は、シアナジンとして 0.5 mg を含有する。)</u></p> <p>3) <u>プロメトリン標準原液 プロメトリン〔C₁₀H₁₉N₅S〕25 mg を正確に量って 50 mL の全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線までアセトンを加えてプロメトリン標準原液を調製する(この液 1 mL は、プロメトリンとして 0.5 mg を含有する。)</u></p> <p>4) <u>農薬混合標準液 使用に際して、アメトリン標準原液、シアナジン標準原液及びプロメトリン標準原液の一定量を混合し、アセトニトリルで正確に希釈し、1 mL 中に各農薬としてそれぞれ 0.5~100 ng を含有する数点の農薬混合標準液を調製する。</u></p>	

改正後	現 行
<p style="text-align: center;"><u>B 定 量</u></p> <p><u>抽出</u> 分析試料 10.0 g を量って 200 mL の共栓三角フラスコに入れ、水 20 mL (乾牧草は 30 mL) を加えた後 30 分間静置する。更にアセトン 100 mL を加え、30 分間振り混ぜて抽出する。200 mL の全量フラスコをブフナー漏斗の下に置き、抽出液をろ紙 (5 種 B) で吸引ろ過する。先の三角フラスコ及び残さを順次アセトン 50 mL で洗浄し、同様に吸引ろ過する。更に全量フラスコの標線までアセトンを加える。</p> <p><u>この液 10 mL を 50 mL のなす形フラスコに正確に入れ、40°C 以下の水浴で約 2 mL まで減圧濃縮し、カラム処理 I に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理 I</u> 試料溶液を多孔性ケイソウ土カラム (20 mL 保持用) に入れ、試料溶液の入っていたなす形フラスコを水 5 mL で洗浄し、洗液をカラムに加えた後、5 分間静置する。200 mL のなす形フラスコをカラムの下に置き、試料溶液の入っていたなす形フラスコを酢酸エチル - ヘキサン (17+3) 10 mL ずつで 3 回洗浄し、洗液を順次カラムに加え、液面が充てん剤の上端に達するまで自然流下させて各農薬を溶出させる。更に同溶媒 50 mL をカラムに加えて同様に溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。</p> <p><u>乾牧草以外の飼料を分析する場合には、ヘキサン 30 mL を加えて残留物を溶かし、液液分配に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>乾牧草を分析する場合には、ヘキサン 5 mL を加えて残留物を溶かし、カラム処理 II に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>液液分配</u> 試料溶液を 100 mL の分液漏斗に入れ、試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン 2 mL ずつで 2 回洗浄し、洗液を試料溶液に合わせる。更に分液漏斗にヘキサン</p>	

改正後	現 行
<p><u>飽和アセトニトリル 30 mL を加え、5 分間振り混ぜた後静置し、アセトニトリル層（下層）を 200 mL のなす形フラスコに入れる。分液漏斗にヘキサン飽和アセトニトリル 30 mL を加え、同様に操作し、アセトニトリル層を先のなす形フラスコに合わせる。</u></p> <p><u>アセトニトリル層を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。ヘキサン 5 mL を加えて残留物を溶かし、カラム処理 II に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理 II グラファイトカーボン / アミノプロピルシリル化シリカゲル積層ミニカラム（500 mg / 500 mg）^{注1}を酢酸エチル 5 mL 及びヘキサン 10 mL で洗浄する。</u></p> <p><u>試料溶液をミニカラムに入れ、液面が充てん剤の上端に達するまで自然流下させる。試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン 5 mL ずつで 2 回洗浄し、洗液を順次ミニカラムに加え、同様に流出させる。</u></p> <p><u>50 mL のなす形フラスコをミニカラムの下に置き、先のなす形フラスコをヘキサン - 酢酸エチル（1+1）5 mL ずつで 2 回洗浄し、洗液を順次ミニカラムに加えて同様に自然流下し、各農薬を溶出させる。更にヘキサン - 酢酸エチル（1+1）10 mL をミニカラムに加え、同様に溶出させる。</u></p> <p><u>溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。ヘキサン 3 mL を加えて残留物を溶かし、カラム処理 III に供する試料溶液とする。</u></p> <p><u>カラム処理 III 合成ケイ酸マグネシウムミニカラム（910 mg）をヘキサン 5 mL で洗浄する。</u></p> <p><u>試料溶液をミニカラムに加え、液面が充てん剤の上端に達するまで自然流下させる。試料溶液の入っていたなす形フラスコ</u></p>	

改正後

現 行

フラグメンター電圧：120 V
ネブライザーガス：N₂ (340 kPa)
乾燥ガス：N₂ (10 L/min、350°C)
キャピラリー電圧：4,000 V
モニターイオン：m/z 228 (アメトリン)、241 (シ
アナジン)、242 (プロメトリン)

計算 得られた選択イオン検出クロマトグラムからピーク高さを求めて検量線を作成し、試料中のアメトリン量、シアナジン量及びプロメトリン量を算出する。

- 注 1 ENVI-Carb/LC-NH₂ (Supelco 製) 又はこれと同等のもの
の
2 Inertsil ODS-SP (ジールサイエンス製、本測定条件によるアメトリン、シアナジン及びプロメトリンの保持時間はそれぞれ約 15 分、約 14 分及び約 17 分) 又はこれと同等のもの
3 Agilent 1100 Series MSD SL (Agilent Technologies 製) による条件例

(参考) 分析法バリデーション

・添加回収率及び繰返し精度

添加成分名	試料の種類	添加濃度 (µg/kg)	繰返し	平均回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
アメトリン	フロイラー-肥育前期用配合飼料	2~100	3	89.5~95.7	9.4
	スーダングラス	2~100	3	74.7~85.7	5.4
シアナジン	フロイラー-肥育前期用配合飼料	2~100	3	81.1~93.5	4.7
	スーダングラス	2~100	3	77.2~80.6	5.9
プロメトリン	フロイラー-肥育前期用配合飼料	2~100	3	85.8~94.5	6.6
	スーダングラス	2~100	3	73.8~87.2	4.0

改正後

現行

・共同試験

成分名	試料の種類	試験室数	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	添加回収率 (%)	室内繰返し精度 RSD_r (%)	室間再現精度 RSD_R (%)	HorRat
アメトリン	プロイラー肥育 前期用配合飼料	9	10.0	98.4	4.3	6.2	0.28
	スーダングラス	9	10.0	92.2	4.2	15	0.66
シアナジン	プロイラー肥育 前期用配合飼料	9	10.0	98.9	6.6	9.4	0.43
	スーダングラス	9	10.0	94.4	4.1	17	0.76
プロメトリン	プロイラー肥育 前期用配合飼料	9	10.0	93.6	2.7	6.1	0.28
	スーダングラス	9	10.0	89.6	3.2	11	0.52

・定量下限 アメトリン、シアナジン及びプロメトリン：試料中 各 $2 \mu\text{g}/\text{kg}$

・検出下限 アメトリン、シアナジン及びプロメトリン：試料中 各 $0.7 \mu\text{g}/\text{kg}$

12 クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

13 酸化フェンブタスズ及びシヘキサチンのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

14 シアナジン及びマイクロブタニルのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

15 ジコホール及びトリフルラリンのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

9 クロルピリホスメチル及びピリミホスメチルのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

10 酸化フェンブタスズ及びシヘキサチンのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

11 シアナジン及びマイクロブタニルのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

12 ジコホール及びトリフルラリンのガスクロマトグラフによる同時分析法
〔略〕

改正後	現行
<p>16 テブコナゾール及びフェナリモルのガスクロマトグラフによる同時分析法</p> <p>(1) 分析対象化合物 テブコナゾール及びフェナリモル(2成分)</p> <p>(2) 分析法</p> <p style="text-align: center;">A 試薬の調製</p> <p>1) テブコナゾール標準原液 テブコナゾール〔C₁₆H₂₂ClN₃O〕25 mgを正確に量って50 mLの褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加えてテブコナゾール標準原液を調製する(この液1 mLはテブコナゾールとして0.5 mgを含有する。)</p> <p>2) フェナリモル標準原液 フェナリモル〔C₁₇H₁₂Cl₂N₂O〕25 mgを正確に量って50 mLの褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加えフェナリモル標準原液を調製する(この液1 mLはフェナリモルとして0.5 mgを含有する。)</p> <p>3) 農薬混合標準液 使用に際して、テブコナゾール及びフェナリモル各標準原液の一定量を混合し、希釈溶媒で正確に希釈して、1 mL中にテブコナゾール及びフェナリモルとしてそれぞれ0.01~<u>1.5</u> µgを含有する数点の農薬混合標準液を調製する。</p> <p>4) 希釈溶媒 <u>ポリエチレングリコール(平均分子量400)50 µLを2,2,4-トリメチルペンタン - アセトン(4+1)100 mLに加えて希釈溶媒を調製する。</u></p> <p style="text-align: center;">B 定 量</p> <p>抽 出 分析試料10.0 gを量って200 mLの共栓三角フラスコに入れ、アセトニトリル - 水(3+1)20 mLを加えた後10分間静置し、更にアセトニトリル100 mLを加え、30分間</p>	<p>13 テブコナゾール及びフェナリモルのガスクロマトグラフによる同時分析法</p> <p>(1) 分析対象化合物 テブコナゾール及びフェナリモル(2成分)</p> <p>(2) 分析法</p> <p style="text-align: center;">A 試薬の調製</p> <p>1) テブコナゾール標準原液 テブコナゾール〔C₁₆H₂₂ClN₃O〕25 mgを正確に量って50 mLの褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加えてテブコナゾール標準原液を調製する(この液1 mLはテブコナゾールとして0.5 mgを含有する。)</p> <p>2) フェナリモル標準原液 フェナリモル〔C₁₇H₁₂Cl₂N₂O〕25 mgを正確に量って50 mLの褐色全量フラスコに入れ、アセトンを加えて溶かし、更に標線まで同溶媒を加えフェナリモル標準原液を調製する(この液1 mLはフェナリモルとして0.5 mgを含有する。)</p> <p>3) 農薬混合標準液 使用に際して、テブコナゾール及びフェナリモル各標準原液の一定量を混合し、希釈溶媒で正確に希釈して、1 mL中にテブコナゾール及びフェナリモルとしてそれぞれ0.01~<u>1.0</u> µgを含有する数点の農薬混合標準液を調製する。</p> <p>4) 希釈溶媒 <u>0.05 v/v%ポリエチレングリコール含有2,2,4-トリメチルペンタン - アセトン(4+1)</u></p> <p style="text-align: center;">B 定 量</p> <p>抽 出 分析試料10.0 gを量って200 mLの共栓三角フラスコに入れ、アセトニトリル - 水(3+1)20 mLを加え、<u>10分間静置後、</u>更にアセトニトリル100 mLを加え、30分間振</p>

改正後	現 行
<p>振り混ぜて抽出する。</p> <p>300 mL のなす型フラスコをブフナー漏斗の下に置き、抽出液をろ紙（5 種 B）で吸引ろ過した後、先の三角フラスコ及び残さを順次アセトニトリル 50 mL で洗浄し、同様に吸引ろ過する。ろ液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、水 20 mL を加えてカラム処理 I に供する試料溶液とする。</p> <p>カラム処理 I 試料溶液を多孔性ケイソウ土カラム（20 mL 保持用）に入れ、5 分間静置する。300 mL のなす型フラスコをカラムの下に置き、試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン 20 mL ずつで 3 回洗浄し、洗液を順次カラムに加える。液面が充てん剤の上端に達するまで流下してテブコナゾール及びフェナリモルを溶出させ、更にヘキサン 60 mL をカラムに加えて同様に溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。シクロヘキサン - アセトン（4+1）10 mL を正確に加えて残留物を溶かし、メンブランフィルター（孔径 0.5 μm 以下）でろ過し、ゲル浸透クロマトグラフィーに供する試料溶液とする。</p> <p>ゲル浸透クロマトグラフィー 試料溶液 5.0 mL をゲル浸透クロマトグラフに注入し、テブコナゾール及びフェナリモルが溶出する画分を 100 mL のなす形フラスコに分取し、40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。</p> <p>ヘキサン 2 mL を加えて残留物を溶かし、カラム処理 II に供する試料溶液とする。</p> <p>ゲル浸透クロマトグラフィー 例 カラム：スチレンジビニルベンゼン共重合体カラ</p>	<p>り混ぜて抽出する。</p> <p>300 mL のなす型フラスコをブフナー漏斗の下に置き、抽出液をろ紙（5 種 B）で吸引ろ過した後、先の三角フラスコ及び残さを順次アセトニトリル 50 mL で洗浄し、同様に吸引ろ過する。ろ液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、水 20 mL を加えてカラム処理 I に供する試料溶液とする。</p> <p>カラム処理 I 試料溶液を多孔性ケイソウ土カラム（20 mL 保持用）に入れ、5 分間静置する。300 mL のなす型フラスコをカラムの下に置き、試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン 20 mL ずつで 3 回洗浄し、洗液を順次カラムに加える。液面が充てん剤の上端に達するまで流下してテブコナゾール及びフェナリモルを溶出させ、更にヘキサン 60 mL をカラムに加えて同様に溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。シクロヘキサン - アセトン（4+1）10 mL を正確に加えて残留物を溶かし、メンブランフィルター（孔径 0.5 μm 以下）でろ過し、ゲル浸透クロマトグラフィーに供する試料溶液とする。</p> <p>ゲル浸透クロマトグラフィー 試料溶液 5.0 mL をゲル浸透クロマトグラフに注入し、テブコナゾール及びフェナリモルが溶出する画分を 100 mL のなす形フラスコに分取し、40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。</p> <p>ヘキサン 2 mL を加えて残留物を溶かし、カラム処理 II に供する試料溶液とする。</p> <p>ゲル浸透クロマトグラフィー 例 カラム：スチレンジビニルベンゼン共重合体カラ</p>

改正後	現 行
<p>ム（内径 20 mm、長さ 300 mm、粒径 15 μm）</p> <p>ガードカラム：スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム（内径 20 mm、長さ 100 mm、粒径 15 μm）</p> <p>溶 離 液：シクロヘキサン - アセトン（4+1）</p> <p>流 速：5 mL/min</p> <p>分 取 画 分：70~125 mL</p> <p>カラム処理 II 合成ケイ酸マグネシウムミニカラム（910 mg）をヘキサン 5 mL で洗浄する。</p> <p>試料溶液をミニカラムに入れ、液面が充てん剤の上端に達するまで流出させる。試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン 2 mL ずつで 2 回洗浄し、洗液を順次ミニカラムに加え、同様に流出させる。更にヘキサン - アセトン（19+1）10 mL をミニカラムに加え、同様に流出させる。50 mL のなす型フラスコをミニカラムの下に置き、ヘキサン - アセトン（7+3）20 mL をミニカラムに加えてテブコナゾール及びフェナリモルを溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。</p> <p>希釈溶媒 2 mL を正確に加えて残留物を溶かし、ガスクロマトグラフ質量分析計による測定に供する試料溶液とする。</p> <p>ガスクロマトグラフ質量分析計による測定 試料溶液及び各農薬混合標準液各 2 μL をガスクロマトグラフ質量分析計に注入し、選択イオン検出クロマトグラムを得る。</p>	<p>ム（内径 20 mm、長さ 300 mm、粒径 15 μm）</p> <p>ガードカラム：スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム（内径 20 mm、長さ 100 mm、粒径 15 μm）</p> <p>溶 離 液：シクロヘキサン - アセトン（4+1）</p> <p>流 速：5 mL/min</p> <p>分 取 画 分：70~125 mL</p> <p>カラム処理 II 合成ケイ酸マグネシウムミニカラム（910 mg）をヘキサン 5 mL で洗浄する。</p> <p>試料溶液をミニカラムに入れ、液面が充てん剤の上端に達するまで流出させる。試料溶液の入っていたなす形フラスコをヘキサン 2 mL ずつで 2 回洗浄し、洗液を順次ミニカラムに加え、同様に流出させる。更にヘキサン - アセトン（19+1）10 mL をミニカラムに加え、同様に流出させる。50 mL のなす型フラスコをミニカラムの下に置き、ヘキサン - アセトン（7+3）20 mL をミニカラムに加えてテブコナゾール及びフェナリモルを溶出させる。溶出液を 40°C 以下の水浴でほとんど乾固するまで減圧濃縮した後、窒素ガスを送って乾固する。</p> <p>希釈溶媒 2 mL を正確に加えて残留物を溶かし、ガスクロマトグラフ質量分析計による測定に供する試料溶液とする。</p> <p>ガスクロマトグラフ質量分析計による測定 試料溶液及び各農薬混合標準液各 2 μL をガスクロマトグラフ質量分析計に注入し、選択イオン検出クロマトグラムを得る。</p>

改正後	現行
<p>測定条件 例</p> <p>カ ラ ム：溶融石英製キャピラリーカラム (5%ジフェニル - 95%ジメチル ポリシロキサンコーティング、 内径 0.25 mm、長さ 30 m、膜厚 0.25 μm)</p> <p>キャリヤーガス：He (1.0 mL/min、<u>初期流量</u>)</p> <p>試料導入法：スプリットレス (60 s)</p> <p>試料導入部温度：250°C</p> <p>カラム槽温度：初期温度 70°C (2 min 保持) 昇温 20°C/min 280°C (10 min 保持)</p> <p>検 出 器：四重極型質量分析計^{注1}</p> <p><u>インターフェース温度</u>：280°C</p> <p><u>イオン源温度</u>：200°C</p> <p><u>イオン化法</u>：電子衝撃イオン化 (EI) 法</p> <p><u>イオン化電圧</u>：70 eV</p> <p>モニターイオン：<i>m/z</i> 250 (テブコナゾール)、 330 (フェナリモル)</p> <p>計 算 得られた選択イオン検出クロマトグラムからピーク面積を求めて検量線を作成し、試料中のテブコナゾール量^{注2}及びフェナリモル量を算出する。</p> <p>注 1 GCMS-QP2010 (島津製作所製) による条件例</p> <p>2 <u>試料中のテブコナゾール量が 5 mg/kg を超える場合は、本法では回収率が低下する可能性があるので、第 1 節 106.3 による試験を行う。</u></p>	<p>測定条件 例</p> <p>カ ラ ム：溶融石英製キャピラリーカラム (5%ジフェニル - 95%ジメチル ポリシロキサンコーティング、 内径 0.25 mm、長さ 30 m、膜厚 0.25 μm)</p> <p>キャリヤーガス：He (1.0 mL/min)</p> <p>試料導入法：スプリットレス (60 s)</p> <p>試料導入部温度：250°C</p> <p>カラム槽温度：初期温度 70°C (2 min 保持) 昇温 20°C/min 280°C (10 min 保持)</p> <p>検 出 器：四重極型質量分析計^{注1}</p> <p><u>インターフェース</u>：280°C</p> <p><u>イオン源温度</u>：200°C</p> <p><u>イオン化電圧</u>：70 eV</p> <p><u>イオン化法</u>：電子衝撃イオン化 (EI) 法</p> <p>モニターイオン：<i>m/z</i> 250 (テブコナゾール)、 330 (フェナリモル)</p> <p>計 算 得られた選択イオン検出クロマトグラムからピーク面積を求めて検量線を作成し、試料中のテブコナゾール量及びフェナリモル量を算出する。</p> <p>注 1 GCMS-QP2010 (島津製作所製) による条件例</p>

改正後

(参考) 分析法バリデーション

・添加回収率及び繰返し精度

添加成分名	試料の種類	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	繰返し	添加回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
テブコナゾール	プロイラー肥育 後期用配合飼料	50~500	3	86.6~91.9	9.8
	若令牛育成用配合飼料	50~500	3	99.5~101.0	11.1
	とうもろこし	50~500	3	90.1~91.9	10.8
	ライグラス	50~500	3	85.4~87.1	4.7
フェナリモル	プロイラー肥育 後期用配合飼料	50~500	3	95.3~98.6	9.0
	若令牛育成用配合飼料	50~500	3	100.1~102.2	5.1
	とうもろこし	50~500	3	96.9~101.2	4.6
	ライグラス	50~500	3	97.6~97.9	3.6

・共同試験

成分名	試料の種類	試験室 数	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	添加回収率 (%)	室内繰返し精度 RSD _r (%)	室間再現精度 RSD _R (%)	HorRat
テブコナゾール	プロイラー肥育 後期用配合飼料	5	200	89.1	2.1	9.3	0.45
	大麦	5	200	91.0	6.3	11.6	0.56
フェナリモル	プロイラー肥育 後期用配合飼料	5	200	92.7	5.4	6.0	0.29
	大麦	5	200	90.9	7.3	10.2	0.49

・定量下限 テブコナゾール 試料中 5 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 、フェナリモル 試料中 10 $\mu\text{g}/\text{kg}$

・定量上限 テブコナゾール 試料中 5 mg/kg

17 フェンバレレート及びペルメトリンのガスクロマトグラフによる同時分析法

〔略〕

第7章～第20章 〔略〕

現 行

(参考) 分析法バリデーション

・添加回収率及び繰返し精度

添加成分名	試料の種類	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	繰返し	添加回収率 (%)	繰返し精度 RSD (%以下)
テブコナゾール	プロイラー肥育 後期用配合飼料	50~500	3	86.6~91.9	9.8
	若令牛育成用配合飼料	50~500	3	99.5~101.0	11.1
	とうもろこし	50~500	3	90.1~91.9	10.8
	ライグラス	50~500	3	85.4~87.1	4.7
フェナリモル	プロイラー肥育 後期用配合飼料	50~500	3	95.3~98.6	9.0
	若令牛育成用配合飼料	50~500	3	100.1~102.2	5.1
	とうもろこし	50~500	3	96.9~101.2	4.6
	ライグラス	50~500	3	97.6~97.9	3.6

・共同試験

成分名	試料の種類	試験室 数	添加濃度 ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	添加回収率 (%)	室内繰返し精度 RSD _r (%)	室間再現精度 RSD _R (%)	HorRat
テブコナゾール	プロイラー肥育 後期用配合飼料	5	200	89.1	2.1	9.3	0.45
	大麦	5	200	91.0	6.3	11.6	0.56
フェナリモル	プロイラー肥育 後期用配合飼料	5	200	92.7	5.4	6.0	0.29
	大麦	5	200	90.9	7.3	10.2	0.49

・定量下限 テブコナゾール 試料中 5 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 、フェナリモル 試料中 10 $\mu\text{g}/\text{kg}$

14 フェンバレレート及びペルメトリンのガスクロマトグラフによる同時分析法

〔略〕

第7章～第20章 〔略〕

改正後	現 行
<p>別表 1</p> <p>〔略〕</p> <p>EPN $C_{14}H_{14}NO_4PS$ (CAS : 2104-64-5) 黄白色結晶 融点 36°C 水に不溶、有機溶媒に可溶</p> <p><u>EPTC $C_9H_{19}NOS$ (CAS : 759-94-4)</u></p> <p>HT-2 トキシシ $C_{22}H_{32}O_8$ (CAS : 26934-87-2)</p> <p>〔略〕</p> <p>亜硝酸ナトリウム 特級 $NaNO_2$ (CAS : 7632-00-0)</p> <p><u>アジンホスメチル $C_{10}H_{12}N_3O_3PS_2$ (CAS : 86-50-0)</u></p> <p>L-アスコルビン酸 特級 $C_6H_8O_6$ (CAS : 50-81-7)</p> <p>〔略〕</p> <p>プロポキスル $C_{11}H_{15}NO_3$ (CAS : 114-26-1) 白色結晶 融点 84~87°C</p> <p><u>プロメトリン $C_{10}H_{19}N_5S$ (CAS : 7287-19-6)</u></p> <p>プロモキシニル $C_7H_3Br_2NO$ (CAS : 1689-84-5)</p> <p>〔以下略〕</p>	<p>別表 1</p> <p>〔略〕</p> <p>EPN $C_{14}H_{14}NO_4PS$ (CAS : 2104-64-5) 黄白色結晶 融点 36°C 水に不溶、有機溶媒に可溶</p> <p>HT-2 トキシシ $C_{22}H_{32}O_8$ (CAS : 26934-87-2)</p> <p>〔略〕</p> <p>亜硝酸ナトリウム 特級 $NaNO_2$ (CAS : 7632-00-0)</p> <p>L-アスコルビン酸 特級 $C_6H_8O_6$ (CAS : 50-81-7)</p> <p>〔略〕</p> <p>プロポキスル $C_{11}H_{15}NO_3$ (CAS : 114-26-1) 白色結晶 融点 84~87°C</p> <p>プロモキシニル $C_7H_3Br_2NO$ (CAS : 1689-84-5)</p> <p>〔以下略〕</p>